

開催結果

○開催期間 令和6年7月18日（木）～7月31日（水）

○会場 けんしん郡山文化センター 1階 展示室

○展示物 148点

○オープニングセレモニー 来場者 235名

○「郡山戦災史」朗読

○被爆体験講話

演題：8歳の記憶「ヒロシマ」

講師：被爆体験証言者 八幡 照子様

○開催日 令和6年7月20日（土）

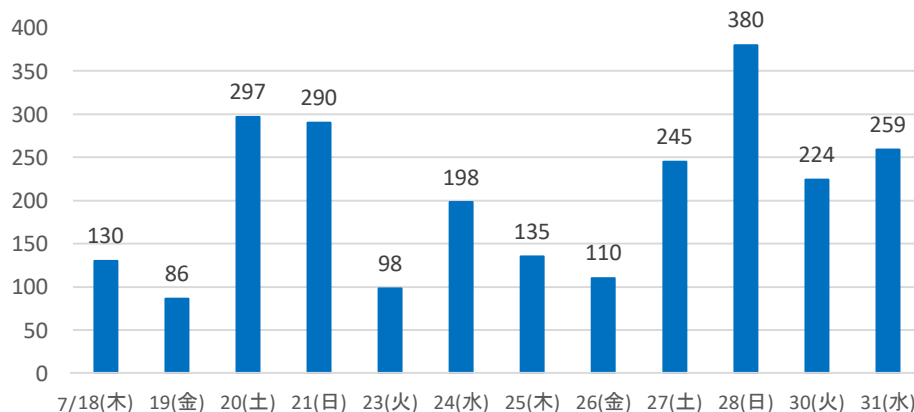
○会場 けんしん郡山文化センター
5階集会室



爆心地から2.5km離れた自宅から出掛けようとしたときに裏庭で被爆した体験を語る八幡様

○来場者 2,452名（1日平均204名）

来場者数（名）



来場者の声【アンケート抜粋】

○展示を見学して

- ・被爆資料・原爆被災写真・高校生が描いた原爆の絵・折り鶴コーナーが印象に残った。戦争の悲惨さを詳しく目で知ることができてよかった。
- ・残酷だった。

○「郡山戦災史」朗読を聴いて

- ・初めて郡山に戦災があったことを知って自分でも調べてみようと思った。
- ・もし私がそこにいたらということを想像したらとても恐ろしいものだと感じることができた。

○被爆体験講話を聴いて

- ・八幡さんの話を聞いて、本当に日本で起こったことなのだと実感した。平和な未来のために、もっと自分事として向き合わないといけないと思った。
- ・こんなことを本当に同じ人間がやったのかと思う。
- ・命を大切にしようと思った。精一杯生きようと思った。

○全体の感想

- ・戦争の悲惨さと辛さを戦争を知らない人たちに伝えていきたいと思った。
- ・今ある日常が当たり前にあることに幸せを感じながら生活していきたいと思う。
- ・忘れてはいけないものだと感じた。



3歳の男の子が被爆した時に乗っていた三輪車を見る中学生



橘小学校放課後児童クラブの児童が自分で書いた平和へのメッセージを見ている様子



原爆投下から復興までのVR被爆映像体験を行っている様子